

IMAGINE ROTARY

2022-23年度 RI会長／ジェニファー・ジョーンズ
RI.D2590ガバナー／志村 雄治
横浜旭RC会長／安藤 公一

「想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。
私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています。」

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階／〒241-0821
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712
http://yokohamaasahirc.cho88.com
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 二俣川相鉄ライフ 4Fコミュニティサロン
例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



横浜市幼稚園協会へエコペーパー石鹸配布



ガールスカウトとクリーン作戦



鎌倉・江の島へ親睦旅行

2022年9月7日 第2475回例会 VOL.54 No.8

- 司会 SAA 岡田 隆
- 開会点鐘 会長 安藤 公一
- 出席報告

会員数	20名	本日の出席数	13名
本日の出席率	68.42%	修正出席率	70.00%

■他クラブの出席者

宋（東京国立白うめRC）、新川（地区）

■本日の欠席者

宋、田川、東谷、中谷、福村

■ゲスト

吉田 智之様

（公益財団法人よこはまユース

青少年交流・活動支援スペース センター長）

■誕生日祝い

増田会員



■皆出席祝い

関口友宏会員

48年



■会長報告

安藤 公一

新型コロナ第7波の収束の見通しは未だ立っていないものの、毎日の感染者数が前週の同じ曜日を下回ったことが続いてくると、少しホッとすする気持ちになります。だからといって今まで通りの感染対策を緩めることはできません。未だに毎日お亡くなりになる方も相当数いるわけですので。一方、まだまだ30度越えの暑さは続いています。台風の影響もあり、蒸し暑い日々が続いています。医療体制の逼迫を回避するためにもコロナ感染予防対策と同時に熱中症予防対策も怠らず続けて行きたいと考えています。一人一人の少しの努力で日夜を問わず治療にご尽力なさっている医療関係の皆さんの負担を軽くできるはずで、とにかく元気で、色々な秋を楽しむべくもうひと頑張りしましょう。

ウクライナにロシアが侵攻して半年が経ちました。正直な話、ここまで持ちこたえるとは思っていませんでした。一日も早くウクライナに平和が訪れるように祈るばかりです。

9/1は関東大震災から99年の防災の日でした。死者行方不明者は10万5千人にのぼり、9割は火災による焼死だったといひます。100年に1度の割合ならば、いつ起きてもおかしくない状況です。できる限りの準備は備えておきましょう。

変わって、明るい話題としては、バドミントン世界選手権で山口茜選手が見事優勝を飾り、男女混合ではワタガシペアが準優勝と頑張りま

した。昨年の東京五輪の雪辱を果たしたわけ
 です。皆さんあまり注目していなかったでし
 ょうが、世界ランク13位の15人制女子ラ
 グビー日本代表（サクラ15）が、史上初
 めて、格上世界ランク6位のアイルラン
 ドに8/27に秩父宮で29対10で勝利
 しました。今年10月にニュージーランド
 で開催される女子ラグビーワールドカ
 ュップに大いに期待を抱かせることとな
 りました。

◎地区関係

- 1) 9/6 地区の米山記念奨学金委員長会議に内田さんがご参加頂きました。
- 2) 9/14(水) 例会時に第3回クラブ協議会を佐藤ガバナー補佐（新横浜RC）の下、開催します。
- 3) 9/28(水) 例会時に志村ガバナーが来訪されます。
- 4) 8/31 付けで地区より青森県大雨災害被災地支援として一人500円程度の義捐金募集が来ています。宜しくご協力お願い致します。日本各地で頻発している豪雨被害です。どこに焦点を当てて対応していくか判断が難しく感じます。
- 5) 地区大会記念「ポリオ根絶チャリティゴルフ大会」の案内がきました。締め切り9月20日、参加費12000円、場所は相模原GC、日時は10月12日（水）です。ご参加ご希望の方は申し込み書に記載の上、事務局まで。

◎クラブ関係

6) 畠山重忠関連の研究を続け、様々な場所で講演を続けておられる、旭区在住の加藤明彦様と前回例会終了時にお会いしてお話をお聞きしました。機会を見つけて卓話に来ていただこうと考えております。現役時代は日本銀行にお勤めで、帯広支店におられた縁で十勝観光大使も務められてた様で、その時の名刺を頂きました。加藤さんご作成の資料を回覧します。

■幹事報告 新川 尚

1) 例会臨時変更のお知らせ

○新横浜ロータリークラブ

- 日時 9月23日(金) 祝日休会
 日時 9月30日(金) 職場訪問/夜間例会
 15時 横浜鶴見リハビリテーション病院
 17時 川崎 鋼友荘

○神奈川東ロータリークラブ

- 日時 9月23日(金) 祝日休会
 日時 9月30日(金) 夜間例会→通常例会に変更

○横浜田園ロータリークラブ

日時 9月27日(火)
 「早朝例会」大林寺7:30集合
■奉仕プロジェクト 市川 慎二
 こどもキャリア大学について
 クラブとして協賛金20,000円協力させていただきました。ありがとうございました。

木(気)になる 実(身)になる プロフェッショナル

第二期生募集!! 先着30名
 小学4年生 ~ 中学3年生

参加者の声
 ● 色々な職業の人に話を聞いて楽しい
 ● どの講師の方々もそれぞれのモットーなどがあり、とても刺激になり、自分の人生の参考にしたいと思った

人の人生を一本の木にたとえたとしたら
 こども時代に何が大切なのか?

それは木を変えるためのたくさんの根を生やすことであり、たくましい幹を育むこと。
 「人との出会い」として「体験」
 今の社会を動かし、支えているプロフェッショナルとこどもたちの出会いをつくりたい。
 魅力的な大人たちの生き方を見つめること、その人の仕事を体験すること。
 仕事の本質を発見すること。そして自らの生き方を問うこと。
 そんな忘れられない体験的な学びを通して、こどもたち自身の「自分づくり」を手助けしたいと考え、こどもキャリア大学を創設します。

会場 + 横浜市区民文化センター・テアトルフォンテ 創作会 or ZOOM 視聴
 対象者 + 小学4年生~中学3年生 後援 + 横浜市区役所・横浜市安全教育協会
 協力 + 横浜市区民文化センター・テアトルフォンテ (指定管理者 相扶企業株式会社)

※ 詳細説明は裏面をCHECK!!

協賛企業: 株式会社 エンフー、株式会社 大花工業、株式会社 ペイ・スクエア、株式会社 富士モーターサービス、株式会社 相連合社印刷、株式会社 大花工業、株式会社 大花工業

日程	タイトル	講師	SDGs
9月25日 Sun	幼稚園・保育園のおはなし ～ 乳幼児の教育、 保育って必要なの? ～	幼稚園教諭・保育士 市川 慎二さん	4 質の高い教育をみんなに
10月16日 Sun	航空整備士のお話 ～ 空の安全を守る 責任とやりがい～	JAL エンジン技師 吉田 達央さん	9 産業と雇用イノベーション
11月27日 Sun	転職のススメ ～ 民間から公務員へ～	横浜市職員 横 大進さん	3 働きがい、経済成長、社会福祉

■ニコニコBOX

北澤 正浩/公益財団法人よこはまユース青少年交流活動支援スペースセンター長、吉田智之様、本日の卓話楽しみにしております。
 市川 慎二/吉田智之様、ご多忙の中、卓話ありがとうございます。
 佐藤 真吾/一ヶ月ぶりに例会場に来ました。皆様お元気そうでなによりです。公益財団法人よこはまユース吉田様をお迎えして。卓話よろしくお願い致します。

佐藤 利明／公益財団法人よこはまユース施設
長吉田智之様、卓話よろしくお願ひします。

関口 大樹／よこはまユース吉田センター長
様、本日の卓話楽しみにしております。

本日はよろしくお願ひいたします。

岡田 隆／よこはまユース吉田様、本日はよ
ろしくお願ひ致します。

二宮麻理子／吉田様本日は卓話よろしくお願ひ
します。

五十嵐 正／公益財団法人よこはまユースの吉
田さん、本日の卓話よろしくお願ひします。

関口 友宏／①吉田智之様、本日、宜しくお願
ひ致します。②皆出席賞を頂きありがとうございます。

増田嘉一郎／夫婦で誕生日祝いをいただきました。
体力はおとろえてきます。

新川 尚／青少年交流・活動支援スペース施
設長吉田智之様、本日の卓話宜しくお願ひしま
す。

安藤 公一／よこはまユース、吉田センター長
様ようこそお越しくださいました。卓話宜しく
お願ひ致します。

■ RC 社会奉仕フォーラム 岡田 隆

本日は、社会奉仕フォーラムということでお
役目をいただきました。

本年度は規模縮小ながらも 10 月 16 日に「ふ
れあい区民まつり」が 3 年ぶりに開催が予定さ
れていますが、その他の活動については、皆様
のご意見、提案などをお聞きして計画実行す
るには、まだまだ制限が多い状況だと思ひます。

そこで、本来の主旨とは若干離れてしまうこ
とをお許しいたゞき、本日は、外部の方から情
報をいただき、今後の当クラブの活動のヒント
になればと思ひ、公益財団法人よこはまユース
の吉田智之様にご講演を依頼させていただきます
した。

吉田様と出会うきっかけは、昨年度佐藤真吾
会員の紹介で、こちらの会場で卓話をしてくだ
さった「かけはし」代表の広瀬さんの農園ボラ
ンティアに私が参加したときに、中高生ボラ
ンティアの引率でお越しただいてお名刺をいた
だき、先日施設を訪問させていただき、色々
とお話を聞かせていただき本日に至ります。

よこはまユース様、吉田様のご紹介はご本人
からしていただけると言うことなので、早速、
吉田様にご講演お願ひしたいと思ひます。

▶ 「青少年育成にかかわる社会の取組み」

公益財団法人よこはまユース
青少年交流・活動支援スペース
施設長 吉田 智之



1、自己紹介、法人の活動紹介

よこはまユースは前身は横浜ボランティア協
会というところで、1974 年に設立以後、これ
まで他の法人等と合併しながら、現在は公益法
人よこはまユースという名前で活動しておりま
す。具体的にどんな活動をしているかと申しま
すと、基本的に 2 つ柱がありまして、地域の方
々の協力を得ながら、青少年（小学生から大
学生位まで）が地域の中で繋がりを持ちなが
ら成長できる社会を目指して、青少年活動の
推進、青少年に関わる人の育成、青少年が社
会との関わりを意識しながら様々な体験が
できる機会や場づくりに、市民の皆さんと
ともに取り組んでいます。

施設は、横浜市青少年育成センター／横
浜市野鳥青少年研修センター／青少年交流・
活動支援スペース／放課後キッズクラブの
4 か所ございまして、私の居るのは青
少年交流・活動支援スペースというところ
です。

ここは子どもが家でも学校でもなく、安
心して自由に利用できる場所を提供して
います。目的は利用する子ども達に声掛
けをし、ボランティア活動とか、地域活
動への参加を募り、社会との繋がり、社
会への参画などに繋がればと考えて
おります。

2、青少年を取り巻く課題

(1) 子どもの貧困

<背景>

- ・不況による家庭の経済格差（非正規労働者の増加）
- ・ひとり親家庭の増加（「男女共同参画白書」によると 30 年前に比べ 1.5 倍増）
- ・保護者が病気や障がいのため働くことができない

・外国から移住してきた等、外国がルーツにあることによる就労難

<波及して生じる課題>

①貧困の連鎖

経済的な理由から、学習・体験・他社との交流機会が不足し、子ども自身も貧困状態から抜け出せないまま大人になり、やがて保護者になることで経済格差が固定化してしまう。

②ヤングケアラー

保護者が病気等のために、一般的な生活を送ることができなかつたり、子どもの養育ができないため、子どもが家事や育児を担わざるを得ない状況が生じる。このために、子ども自身に意欲はあっても学習や体験の機会を充分に得られない。

③虐待

保護者が病気であつたり、働きづめであつたりするために、子どもに向き合う時間が不十分でネグレクトに近い状況が生じてしまう。このために、子どもは成育過程に欠かせない安心感や愛情を得にくくなる。

(2) 不登校・ひきこもり

<背景>

・対人トラブルや対人不安（少子化やコミュニティの希薄化により、他者との関わりに慣れておらず、不安を感じる子どもが増えているのかもしれない。）

・家庭の養育環境に課題があり、学習習慣が十分に身につかないまま進級・進学したことにより周囲との学力差が生じ、徐々に意欲が低下し、学校へ行かなくなる。

・保護者に代わり家事や育児を担わざるを得ず、学校へ行きたくても行けない環境にある。

<波及して生じる課題>

①中退→貧困

進学しても勉強についていくことができずに中退してしまう。その結果、就労できなかつたり、就労しても不安定な雇用のため貧困状態に陥ってしまう。

②社会的孤立

家族以外と接点がなく、家族がいなくなった時に必要な支援を受けられなくなる。子どもの養育が負担となり、家族もコミュニティとのつながりから離れてしまう可能性がある。

(3) 発達障がい

<背景>

・遺伝などが原因と考えられるが、詳しくは解

かっていない。

<波及して生じる課題>

・学校に行けないことで、周囲との学力に差が生じる。

3、課題解決に向けた社会の取組み

a) 子ども食堂

食事提供だけでなく、他者との交流やコミュニティづくりが目的。

b) 校内居場所カフェ

高校や中学校内に学校関係者以外の人・団体が入り、軽食を提供するとともに生徒たちが自由に過ごせる場所を設けている。利用する生徒たちとの雑談から悩みや課題を拾い、アドバイスや適切な支援につなげることで孤立化を防ぐ。

c) 学習支援

学習を通じて青少年との関係性を築き、困りごとや悩み事があつた時にサポートする。

d) 寄り添い型支援事業（学習支援、生活支援）

行政の事業として、市内各区に1事業所ずつ展開している。

あいさつ、手洗い・うがいといった生活習慣や学習習慣を身につけられるようにサポートする。

養育環境にかだいがあり、一般的な習慣の身についていない青少年にとって「第二の家」のような存在。

e) 地域ユースプラザ

行政の事業として、市内に4事業所（鶴見、都筑、旭、磯子）を展開。

不登校・ひきこもり状態の青少年の自立をサポートする。青少年が安心して過ごせる場所を設けて相談対応するとともに、就労体験プログラムなどを行い、社会に踏み出す手助けをする。

f) 地域活動拠点

行政の事業として、市内に6事業所（青葉、都筑、保土ヶ谷、栄、磯子、金沢）を展開。

青少年が安心して自由に過ごせる場所の提供や体験機会を提供することで、青少年に社会参画や社会活動を促す。

4、事例紹介

○ロータリークラブ×校内カフェ

添付資料参照。

○ライオンズクラブ×寄り添い型生活支援事業

食事体験として、カレーなどの提供を行うとともに、食事マナーも教えていただいている。

■次週卓話

9/21 一般卓話 平子会員